**マリモの一生**

マリモとはアエガグロピラリンナエイという緑藻の珍しい形状で、多数の繊維が球体状に集まった種類のことを指します。

湖面に吹いた風が穏やかな波を引き起こし、長い藻の繊維を球体状に丸めます。これがマルモの一生の始まりです。波により球体が回転することで、マリモ全体に水中の日光が当たります。そして、光合成により球体はどんどんと大きくなっていき、断続的な回転により均等な球体を作り上げます。成長していくにつれ、徐々にマリモは球体状の形を留めることができなくなり、小さなマリモに砕け散り、新たな一生が始まります。

マリモにとって最適な環境がチュウルイ湾には整っています。また、この湾には2つの水が入り混じっています。１つは阿寒湖に流れこむ冷たい水。もう１つはミネラルや塩化物イオンを豊富に含む雄阿寒岳と湖南部の湧き水です。栄養素の絶妙なバランスがマリモの成長環境の鍵になっているのです。

このようなチュウルイ湾の環境により、最大直径30cmという他の地域では見つけることができないほど大きなマリモが成長します。